施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (10)歴史文化の継承・活用

(評価担当者)

生活文化部長

佐久間 利夫

■基本施策が目指す姿

市民が、地域の歴史文化を学び、郷土に誇りを持っています。

■関連する分野別計画

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	国・県・市の指定等を受ける文化財の数	件	132	H27	133					135
2	歴史博物館の利用者数	人	11,561	H27	11,314					13,000
3										
4										
5										

■市民アンケート調査

項目	重要度	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1 歴史や文化をいかしたまちづくりが行われている	重要度	0.81			/
	満足度	▲ 0.02			
2	重要度				
	満足度				
3	重要度				
	満足度				
4	重要度				
	満足度				
5	重要度				
	満足度				

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
A 順調に進んでいる	文化財の保存・継承と活用については、ネコギギ保護増殖事業や亀山市域近世近代史資料調査事業など、地道な事業推進の結果として具体的な成果が表れたものがあり、個別判定をAとしている。 歴史博物館の活用と地域・学校での学習の展開についても、学校等における移動展示等が順調に進められているほか、新たな切り口での企画展示開催等の成果が得られており、個別判定をAとしている。 以上から、総合判定をAとした。
反省点・課題	
歴史文化に関わる施策は、成果が具体的に表れるまでに長い時間を要し、段階的に事業成果を積み上げていく必要がある。鈴鹿関跡学術調査事業などこれまで事業を継続してきたものについても、成果が見える形となるまで、目標を定めた上で着実に成果を積み上げる必要がある。歴史博物館においては、新たな切り口での歴史テーマの発信を行うとともに、教育や地域学習に活用できるよう、史資料の調査研究を拡充していく必要がある。 一方、歴史文化に関心が高い方々は、年齢層の高い方が圧倒的に多く、若い世代は限られている。地域や他市町等との連携が進み始めており、これをさらに充実させていくことで、新たな担い手の育成と、活動の場を創出していく必要がある。	

今後の展開方針

長期的な視点に立って、市の歴史文化資産の調査研究活動を充実させる。そこで得られた成果を市の歴史文化の普及啓発に活かすとともに、教育・地域学習等での実践を通して、歴史文化に関する関心を高めていく。
 また、地域や他市町等との連携の中で、歴史文化を掘り起こし、磨きをかける人材の発掘・育成を図る。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 文化財の保存・継承と活用							
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A 順調に進んでいる	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 文化財を適切に保存するとともにその活用に努めた。特に、ネコギギ保護増殖事業について鈴鹿高校との連携により、飼育を実現し、繁殖に成功した。鈴鹿関跡の学術的な調査研究を進めるため、2回の委員会を開催した。文化年事業を活用した岡山県高梁市との交流により、文化財関係職員の研修を受け入れた。保存団体等の活動や次代の担い手育成を支援した。			評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 文化財を適切に保存するとともに、市民活動団体等との連携により、その活用を図ることができた。鈴鹿関跡委員会により、学術的な検討は進んだが、国史跡指定に向けては残された課題も多い。文化財の保存・活用に、幅広い市民活動団体等の参画が得られた。	
		関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]
		17039	鈴鹿関跡学術調査事業	主	597 / 242	B	B
		19320	亀山市域近世近代史資料調査事業	標	2,963 / 2,949	A	A
		19053	指定文化財維持管理費	標	14,534 / 13,796	A	B
		19054	歴史街道遺産活用事業	標	1,465 / 1,434	A	A
		19291	希少水生生物保護増殖事業	標	2,232 / 2,212	A	A
		19068	一般遺跡調査事業	標	8,379 / 7,636	B	B
		19119	一般事業(町並み保存費)	標	1,368 / 1,197	A	A
事業以外の取組		内容				活動	成果

施策の方向② 歴史博物館の活用と地域・学校での学習の展開							
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A 順調に進んでいる	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 田中家資料調査においては、資料調査を完了するとともに、報告書によりその成果を公表した。企画展示では、岡山県高梁市との交流に関連した新たな切り口での展示を行った。学校での移動展示において、地域に関連した展示等を行うとともに、学校での学習と連携した出前授業やユニットの貸出等を進めた。			評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 常設展示や企画展示を通じて、新たな切り口での歴史研究が進められるとともに、研究成果を生かした歴史の発信や学習機会が提供できた。学習プログラムの中での歴史博物館と学校等との連携が充実した。	
		関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]
		19072	企画展開催費	標	2,687 / 2,400	A	A
					/		
事業以外の取組		内容				活動	成果